

(調査様式1)

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成25年1月23日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670600214
法人名	有限会社 精祥
事業所名	グループホーム はまゆう
所在地	鹿児島県 阿久根市 脇本 6778-39 0996 75-1122
自己評価作成日	平成24年 11月 2 日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉21かごしま
所在地	鹿児島市真砂町54番15号
訪問調査日	平成24年11月23日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

御家族様が安心して、いつでも訪問して頂ける雰囲気。
入居者様にとって、心地よい生活の場を提供しています。
本人のペースで生活して頂いています。
行動を制限せず、歩きたい時に歩いて頂いています。
朝食も「まだ寝る」と言って後から摂られる方も2、3名おられます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

○グループホームはまゆうは、海岸の近くにあり、施設からは、たばこ畑が見渡せ、潮風や季節が感じられ、自然豊かな環境にある。

○広大な敷地を利用し、庭や居室、居間も広くハード面・ソフト面において、ゆとりのある暮らしの実践に取り組んでいる。玄関は外玄関と内玄関と二重玄関になっており、広々とした玄関内は、2ユニットの利用者の交流の場として利用している。また、玄関にはマッサージ器を設置し、利用者やご家族などが自由に利用できるようになっている。

○職員は、利用者と一緒にゆっくり関わりながら利用者の希望や能力を引き出せるように対応し、できる限り利用者の希望に添えるように心がけている。

○有限会社精祥は、他に介護付き有料老人ホームや認知症対応型グループホームがあり、同法人全体で、年に1回勉強会、月に1回委員会を行い、地域に密着した適切なサービスの提供ができるように研修に取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	朝礼時、全職員で理念の意識付けを行い、ケアに取り組んでいる。	理念には「尊厳・安心・自立・環境」「なじみの暮らし、地域とのふれあい」という言葉を用いており、利用者一人ひとりの人格を大切にしながら地域とのつながりを継続できるような内容である。理念を掲示するとともに、毎日の朝礼において唱和し、職員の意識付けを行っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	運動会や地域清掃等行う。夕涼み会へは、ボランティア、中学生参加呼びかけしている。	近隣の住宅と少し離れた位置にあり、地域との交流が思うようにできない面もあるが、地域の行事や海岸の清掃活動、地域の防災訓練には積極的に参加している。ボランティアや中学生の体験学習など積極的に受け入れている。また、ホームで行われる夏祭りに地域の人にも参加してもらうなど地域とのつながりを大切にしている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	職場体験学習の受け入れ実施を行っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	現況報告、行事報告と併せ、事故、ヒヤリハットの報告も行い、御家族等の意見を現場で活かせるよう努めている。	2ヶ月に1回開催され、利用者の状況や運営・行事予定などの報告を行っている。メンバーには、区長、民生委員、家族、行政等の職員も参加してもらい、助言や協力をいただき、サービスの向上に活かしている。開設6年目ということで会議の内容がややマンネリ化してきている傾向があり、会議の運営について改善していきたいと思っている。	固定化された会議内容の見直しや工夫で、参加者からの活発な意見をさらに促し、よりサービスの向上につながる充実した運営推進会議となる運営や取り組みを期待したい。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	判断の難しい件については、その都度相談をお願いしている。	事務手続きや、介護保険の改正など分からないことがあればその都度相談するようにしている。また、ご家族からの質問など対応で困ったことがあれば相談し助言をいただいている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	全職員が学習会等で理解を深めるようにしている。現在、拘束はない。	法人全体で年に2回身体拘束に関する勉強会を行い、職員意識の統一に心がけている。利用者が不穏状態のときは、利用者やご家族の話を伺い、不穏の原因を探りながら状態を観察し、対応を検討している。身体拘束・薬剤による拘束・言葉による拘束を避けたケアの実践を心がけており、「身体拘束実施記録簿」を準備してあるものの、これまで身体拘束の実例はなく、実施記録簿に記載はまだない。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体状況の観察に努め、少しの異常でも報告し、原因究明に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	研修や学習会等で学び、職員が閲覧できるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	その都度説明を行い同意を得ている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	家族会、運営推進会議等で意見を頂いたり、玄関に意見箱の設置をしている。	重要事項説明書に相談窓口を記載している。日頃から家族が意見を言いやすい雰囲気づくりに心がけ、電話や面会時に家族の希望や意見などを伺うようにしている。玄関に意見箱を設置し利用者やご家族の意見を反映したケアの実践に努めている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月の部署会や個人面談等で意見や提案を聞き、皆で話し合っている。	朝礼やミーティング、管理者や経営者との面接の機会を設け、日頃から職員が意見を述べやすい雰囲気づくりに心がけ、職員の意見を聞きながら施設運営を行っている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	年に1回育成表の提出・面談。 年2回の総括会議の場で、事例発表や外部への研修・資格取得の学習会等実施している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>学習会で統一ケアに向けた意識付けを行っている。研修受講した職員は、発表報告し職員全員で共有できるようにしている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>研修等で、他ホームの職員と交流し、ネットワークを広げつつある。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人が話しやすい環境を作り、不安軽減に努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族が何でも話せるよう、聞く姿勢を大事にしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人の生活状況を細かく聞き出し、何が必要か見極めて対応している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	調理、シーツ交換等一緒に行い、共同生活の環境を作っている。寄り添いの時間を大切にしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	定期的に便りを郵送し、また行事予定を掲示し、参加を促している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ドライブや墓参り等にて地域の方と触れ合えるようにしている。	利用者やご家族の希望を伺いながら、地域で行われる行事には積極的に参加し、利用者と地域のとの関わりが継続できるように心がけている。また、面会、手紙や電話の支援、馴染みの店への買い物などの支援を行い、馴染みの人や場との関係性の継続に取り組んでいる。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	共有スペースでは、和やかな雰囲気になるよう、利用者同士の関係についても把握するよう努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	行事の参加呼びかけを行っている。家族からの相談があれば対応できるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	寄り添い、話を聞く機会を大切にしている。食事時間、入浴時間等も本人の希望に合わせて行っている。	日頃から利用者やご家族の声に耳を傾け、体調や希望に応じた支援を心がけている。また、連絡ノートを活用し情報の共有化を図り、出来るだけ利用者やご家族の希望に添えるように努力している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	基本情報シートを作成し、職員全員が情報を共有している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	バイタルチェック、食事、排泄等のチェックを行い、現状把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	担当者が毎月モニタリングを行い、問題点があれば部署会等で検討している。家族へはその都度報告している。	利用者ごとに担当制を設け、利用者について把握し、職員全体で意見を出し合い介護計画を立案している。「モニタリング及びアセスメント用紙」を用い、毎月、モニタリングを行っている。「介護サービス計画チェック表」を作成し、職員全体が介護サービス計画書に沿ったケアを実践している。また、利用者の状況に応じて伝達ノートを活用し、情報の共有化を行って	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	サービス内容が解りやすい記録を指導している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人や家族の要望に沿った対応をしている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の行事には可能な限り参加している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、家族が希望する医療機関との関係を大切にしている。	看護師が中心となり利用者の健康管理を行っており、医療機関の受診や往診の支援を行っている。主治医への伝達は「診療情報提供書」を用いている。職員への伝達は「看護記録」「白板」「申し送りノート」を活用し、情報の共有化を図っている。家族へは電話などで結果を報告している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>変化や気付きは看護師へ報告し、受診、往診を行っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院した場合は、連携室と情報交換をしている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>医療機関や家族と話し合いながら行っている。</p>	<p>重度化や看取りに対する対応について指針を定め、入居時に家族に説明し同意をもらっている。また、利用者の身体状況に応じて、本人や家族、かかりつけ医と相談し、出来るだけ利用者と家族の希望に添えるように努力している。利用者の状況に応じて管理者や看護師は勤務時間以外もオンコール体制で24時間対応している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変時に備え、学習会等で検討し、マニュアルを掲示している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>避難訓練を定期的に行っている。地域の防災訓練に参加している。</p>	<p>防火扉や非常通報装置を設置し、毎月、夜間想定での避難訓練や消火訓練を行っている。非常災害時に備え、水などの備蓄は確認できたが、食料品等の備蓄は確認できなかった。また、避難訓練について運営推進会議で報告をしているが、地域への参加協力は実施していないようである。</p>	<p>非常災害に備え、災害訓練への地域の参加協力をお願いするとともに、非常災害時の食料等利用者の人数に応じた備蓄の検討を期待したい。</p>

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者主体で考え、押しつけにならない声かけをしている。	玄関に個人情報保護方針を掲示し、個人記録等は外来者の目に触れないように棚に保管している。利用者への日頃の声かけは、個人を尊重しながらも親しみが持てるような声かけを実践している。居室やお風呂場、トイレのドアの開閉などプライバシーに配慮し、対応している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の意思を尊重するよう努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人の希望に合わせて、食事、入浴時間を調整している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	入浴の際には、一緒に服を選んだり、散髪希望があれば美容院へ送迎している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	野菜の皮むきや台拭き等一緒に行っている。好き嫌いのある方へは別メニューで対応している。	下ごしらえや下膳を一緒に行い、一人ひとりの意向や体調に応じて盛り付けや量、食事形態など配慮している。職員も一緒に会話を楽しみながら食事をとっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	本人の好む飲み物を提供している。食事量は一目で解るような記録を行い、体重測定は毎月行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	同行して確認、介助を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	定期的に誘導し、確認、介助している。チェック表でパターンを把握している。	一人ひとりの排泄パターンに合わせ、声かけやトイレ誘導はさりげなく行うなど配慮しながら対応している。また、利用者の状況に応じて居室にポータブルトイレを設置したり、男性利用者も落ち着いて排泄が出来るように洋式トイレだけでなく、男性便器も設置し、利用者の生活習慣や状況に応じた排泄支援を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	チェック表と併せてカレンダー利用し下剤与薬や補水、回廊散策を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	本人の意思を尊重し、午後にはずらしたり、次の日に入ってもらったりしている。	利用者の希望により、入浴剤を使用するなど、一人ひとりの希望や状態に応じた入浴の支援を行い、入浴を楽しめるように工夫している。また、入浴を嫌われる方には入浴時間、入浴日を変更したり声かけを工夫しながら対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	午睡習慣のある方もいる為、状況に応じて対応している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	学習会を行ったり、服薬変化があれば、効能書を日誌に綴り、連絡ノートでも周知している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	調理・畑・掃除等、得意な事に参加して頂けるよう努めている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	希望時、一緒に出掛けられるようにしている。	敷地が広く天気の良い日は、車いすの人も庭で日光浴や散歩が行われている。また、本人の希望に応じて買い物、ドライブ、墓参りなど戸外に出かけられるように配慮し、気分転換やストレス発散、五感刺激の機会として支援をしている。しかし、介護度の高い人は、戸外に出かける機会はほとんどないようである。	介護度の高い人も居室生活だけではなく、楽しみの機会や気分転換、ストレス発散、五感刺激の機会など、戸外への外出の機会が得られることを期待したい。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>本人が管理している方もいる。買い物の際は、家族へも報告している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>希望時に対応している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節を感じて頂けるよう、花や貼り絵等を工夫している。</p>	<p>居室やリビング、敷地も広く開放的であり、利用者が思い思いにくつろぐことができるスペースが確保され、居心地よい空間となっている。坪庭にウッドデッキが敷き詰められており、坪庭の中央に松の木が植えられ、木のぬくもりが感じられる空間となっている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>風除室で外を眺めたり、マッサージチェアを使用したり、一人の時間を大切にし、さりげない見守りを行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>安心感を得られるよう、馴染みの物の持ち込みをお願いしている。</p>	<p>家族とも相談し、一人ひとりの希望や状況に応じて家具、椅子、ぬいぐるみなど馴染みのあるものが持ち込まれ居心地のよい空間となっている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>トイレ等、目に付きやすいように表示している。居室が解らない方へは花や目印になるような物を飾り自立へ向けた支援に努めている。</p>	/	/

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
		○	3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1	ほぼ全ての利用者が
		○	2	利用者の2/3くらいが
			3	利用者の1/3くらいが
			4	ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1	ほぼ全ての利用者が
			2	利用者の2/3くらいが
			3	利用者の1/3くらいが
			4	ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1	ほぼ全ての家族と
			2	家族の2/3くらいと
			3	家族の1/3くらいと
			4	ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1	ほぼ毎日のように
			2	数日に1回程度ある
		○	3	たまに
			4	ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1	大いに増えている
			2	少しずつ増えている
		○	3	あまり増えていない
			4	全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1	ほぼ全ての職員が
			2	職員の2/3くらいが
			3	職員の1/3くらいが
			4	ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1	ほぼ全ての利用者が
			2	利用者の2/3くらいが
			3	利用者の1/3くらいが
			4	ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1	ほぼ全ての家族等が
			2	家族等の2/3くらいが
			3	家族等の1/3くらいが
			4	ほとんどいない